

# 正社員の採用予定 63.8% 2年ぶりに上昇 人手不足背景に意欲回復

一方で既存社員との賃金バランスの調整が課題となるケースも

## 北海道・2026年度の雇用動向に関する企業の意識調査



本件照会先

松田 尚也（調査担当）  
帝国データバンク  
札幌支店情報部  
011-272-3933（直通）  
問合せ先: info.sapporo@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/04/10

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2026年度の正社員雇用では、『採用予定がある』北海道内企業が63.8%と2年ぶりに上昇した。継続する人手不足、退職や高齢化にともなう補充需要の増加などが背景にある。採用形態は「新卒」38.6%に対し「中途」53.3%と中途採用が上回った。一方、非正社員の採用予定は38.0%と2年連続で低下した。正社員を中心に採用意欲は高まっているものの、中小企業では応募数の少なさや既存社員との処遇調整など、多くの課題が残されている。

- ※ 株式会社帝国データバンク札幌支店は、北海道内983社を対象に、「2026年度の雇用動向（採用）」に関するアンケート調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2026年2月調査とともに行った
- ※ 調査期間：2026年2月13日～2月28日（インターネット調査）
- ※ 調査対象：道内983社、有効回答企業数は458社（回答率46.6%）

## 正社員『採用予定がある』割合は 63.8% 2年ぶりに6割を回復

2026年度(2026年4月～2027年3月入社)の正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』(「増加する」「変わらない」「減少する」の合計)道内企業の割合は前回調査(2025年2月実施)から5.3ポイント増の63.8%となり、2年ぶりに前年度を上回った。6割台に回復するのも2年ぶり。採用予定がある企業の内訳は、採用人数が「増加する」企業が同1.9ポイント増の26.2%となった。

他方、『採用予定はない』は同3.3ポイント減の25.1%と3年ぶりに低下した。

### 正社員の雇用動向(採用)

	正社員採用 (%)						有効回答数 (N)	調査年月
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない		
2005年度	65.3	23.4	34.5	7.4	29.3	5.5	475	2005年2月
2006年度	53.8	19.4	29.2	5.2	38.2	8.0	500	2006年2月
2007年度	56.4	20.0	28.1	8.3	39.0	4.6	505	2007年2月
2008年度	50.8	17.6	25.9	7.3	44.6	4.6	522	2008年3月
2009年度	36.4	10.6	18.0	7.7	57.8	5.8	583	2009年2月
2010年度	35.8	12.9	15.4	7.5	56.4	7.9	534	2010年2月
2011年度	40.2	16.4	19.2	4.6	50.7	9.2	590	2011年2月
2012年度	46.5	21.2	19.5	5.8	46.3	7.2	570	2012年3月
2013年度	52.8	26.3	21.0	5.5	38.6	8.6	547	2013年2月
2014年度	58.3	25.0	28.8	4.5	33.0	8.7	552	2014年2月
2015年度	61.0	24.1	31.4	5.6	30.3	8.6	557	2015年2月
2016年度	61.8	23.7	30.2	8.0	28.3	9.9	566	2016年2月
2017年度	61.3	24.4	27.7	9.1	28.3	10.4	537	2017年2月
2018年度	65.4	25.1	32.0	8.3	23.7	10.8	518	2018年2月
2019年度	59.9	21.3	29.4	9.3	26.9	13.2	494	2019年2月
2020年度	58.0	22.0	28.6	7.3	29.0	13.0	531	2020年2月
2021年度	52.8	22.1	24.4	6.3	32.5	14.6	553	2021年2月
2022年度	61.9	24.4	29.5	8.0	26.3	11.8	577	2022年2月
2023年度	64.0	29.4	27.9	6.7	24.2	11.9	480	2023年2月
2024年度	64.6	27.4	26.6	10.6	24.9	10.6	511	2024年2月
2025年度	58.5	24.3	26.8	7.4	28.4	13.1	489	2025年2月
2026年度	63.8	26.2	28.8	8.7	25.1	11.1	458	2026年2月

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

『採用予定がある』企業からは、「正社員は数年先の退職予定者を見越して若干名採用予定」(鉄骨工事)、「人力的には足りているが世代交代を加味し増員を予定している」(自動車一般整備)といった声が聞かれ、人手不足への対応や欠員補充に加え、将来の世代交代を見据えた増員の動きがうかがえた。

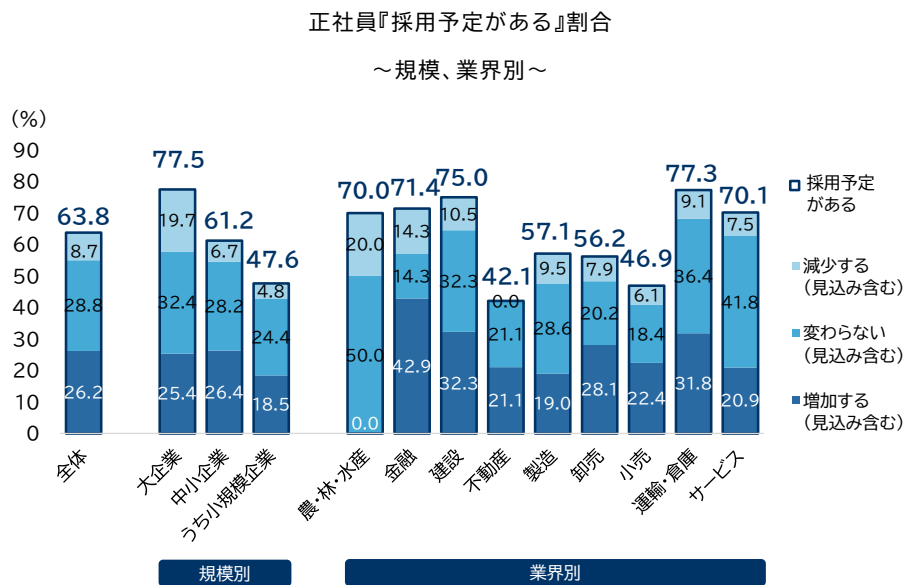
一方で、『採用予定はない』企業からは「経費がかかるので採用できない」(和洋紙卸売)、「社会保険の負担が重く従業員を雇う余裕がない」(自転車小売)といった声が聞かれた。また、「採用予定はないと回答したが、正社員を募集しても一向に応募がなく採用できない状態」(冷暖房設備工事)など、採用意欲はあるものの応募が思うように集まらず、実際の採用につながらない企業がみられた。

## 正社員『採用予定がある』割合、『運輸・倉庫』がトップ

規模別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、「大企業」は 77.5%と全体(63.8%)を大幅に上回った。一方で、「中小企業」は 61.2%、うち「小規模企業」は 47.6%となり、企業規模が小さいほど割合が低くなる傾向がみられた。

業界別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、深刻な人手不足に直面している『運輸・倉庫』が 77.3%で最も高かった。企業からは、「入社希望者がいた時点で速やかに採用を行おうと思っている」(一般貸切旅客自動車運送)といった声が聞かれた。次いで、『建設』が 75.0%と高い水準で続き、「社員の新規採用について募集はしているが、応募がない状況」(道路標示・区画線工事)とのコメントが寄せられた。

### 正社員『採用予定がある』割合



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

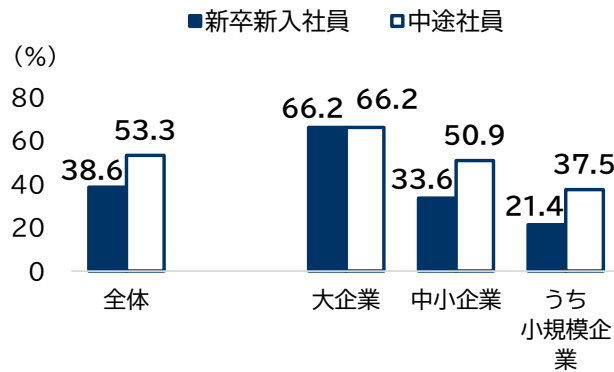
## 正社員採用予定、新卒新入社員は 38.6%、中途社員は 53.3%

2026年度の正社員の採用状況を採用形態別に尋ねたところ、『採用予定がある』(「増加する」「変わらない」「減少する」の合計)企業の割合は、「新卒新入社員」が 38.6%、「中途社員」が 53.3%となった。

規模別にみると、「大企業」では「新卒新入社員」と「中途社員」が各 66.2%だった。他方、「中小企業」では「新卒新入社員」が 33.6%だったのに対し、「中途社員」は 15ポイント以上高い 50.9%となり、大企業に比べて中途採用をより重視する傾向がうかがえる。

企業からは「会社の将来のために若い新卒者を採用したいが、社員教育が大変なため、中途採用で補っている」(菓子・パン類卸売)、「新卒新入社員を採用しても、教育する余裕がない」(一般管工事)といった声が聞かれ、教育リソース不足が新卒採用の障壁となっている実態がうかがえる。

## 正社員の採用～新卒新入社員と中途社員～



## 非正社員『採用予定がある』割合は2年連続で低下

2026年度の非正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）道内企業の割合は前年度比 3.9 ポイント減の 38.0%と2年連続で低下した。

一方、『採用予定はない』企業は同 1.2 ポイント増の 45.2%となり、3年連続で増加した。

企業からは、「従来は繁忙期に合わせて人材を配置していたが、正社員は閑散期に必要な人数にとどめ、繁忙期は派遣や臨時で賄う予定」（あん類製造）といった声が聞かれた。

## 非正社員の雇用動向（採用）

	非正社員採用 (%)						有効回答数 (N)	調査年月
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない		
2005年度	60.8	14.1	39.4	7.4	27.8	11.4	475	2005年2月
2006年度	50.4	11.0	33.4	6.0	36.2	13.4	500	2006年2月
2007年度	50.5	9.9	33.7	6.9	41.4	8.1	505	2007年2月
2008年度	45.2	7.1	29.9	8.2	45.0	9.8	522	2008年3月
2009年度	31.6	3.9	18.7	8.9	59.9	8.6	583	2009年2月
2010年度	31.8	5.1	19.3	7.5	55.4	12.7	534	2010年2月
2011年度	34.2	8.5	19.5	6.3	53.1	12.7	590	2011年2月
2012年度	36.3	8.4	21.8	6.1	53.3	10.4	570	2012年3月
2013年度	43.3	9.9	26.3	7.1	45.2	11.5	547	2013年2月
2014年度	48.9	13.8	29.9	5.3	38.4	12.7	552	2014年2月
2015年度	51.3	11.1	34.1	6.1	38.4	10.2	557	2015年2月
2016年度	48.8	9.7	31.8	7.2	40.3	11.0	566	2016年2月
2017年度	43.2	10.2	27.9	5.0	41.9	14.9	537	2017年2月
2018年度	53.1	11.0	34.6	7.5	35.3	11.6	518	2018年2月
2019年度	48.4	11.1	30.4	6.9	36.8	14.8	494	2019年2月
2020年度	46.1	9.0	31.5	5.6	39.0	14.9	531	2020年2月
2021年度	35.4	6.5	23.9	5.1	47.9	16.6	553	2021年2月
2022年度	45.4	11.4	28.9	5.0	40.6	14.0	577	2022年2月
2023年度	47.1	12.9	30.0	4.2	38.3	14.6	480	2023年2月
2024年度	48.1	12.3	30.1	5.7	39.1	12.7	511	2024年2月
2025年度	41.9	11.2	24.3	6.3	44.0	14.1	489	2025年2月
2026年度	38.0	7.9	25.8	4.4	45.2	16.8	458	2026年2月

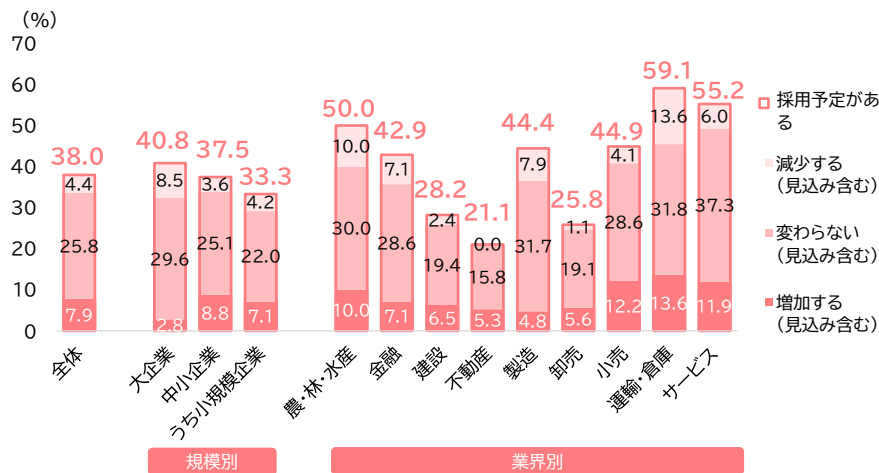
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

## 非正社員『採用予定がある』割合も『運輸・倉庫』がトップ

規模別に非正社員の『採用予定がある』割合をみると、正社員と同様に企業規模が小さいほど割合が低くなっている。業界別では、『運輸・倉庫』が59.1%で最も高く、『サービス』(55.2%)、『農・林・水産』(50.0%)も5割以上の水準で続いた。

### 非正社員『採用予定がある』割合

非正社員『採用予定がある』割合  
～規模、業界別～



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

## まとめ

本調査では2026年度の正社員の雇用動向について、『採用予定がある』と回答した道内企業は前年度比5.3ポイント増の63.8%となり、2年ぶりに前年度を上回った。人手不足への対応に加え、退職者や高齢化による補充需要が一段と高まっている。非正社員を『採用予定がある』企業は同3.9ポイント減の38.0%と2年連続で低下した。

正社員の採用予定があると回答した企業のなかでも、計画通りの人材確保については依然として厳しい状況が見受けられる。また、「相変わらずの人手不足だが、既存従業員の賃上げもできない状況では積極的に新規採用はできない」(土木建築サービス)といった声があるように、人材獲得のための賃上げにともない、既存社員との賃金バランスの調整が課題となるケースもみられた。

全国的には人材確保の困難さを背景に、AIの活用や自動化など省人化の取り組みも複数の企業で検討されるなど、企業側の対応は多様化している。大企業に比べて賃金や待遇面で見劣りする中小企業に対しては、賃上げ負担への助成や価格転嫁を進めやすい環境整備、省力化・省人化投資への支援、外国人雇用に関する規制緩和など、多方面からの政策的支援が一層求められる。